

# 平和堂木曾川店

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 1 概要

開店時刻を午前10時(日曜日及び年間10日は午前9時)から午前9時に繰上げ、荷捌き可能時間帯は午前7時～午後7時を午前6時～午後7時、駐車場利用時間は午前9時30分～午後11時30分(日曜日及び年間10日は午前8時30分～午後11時30分)を同年午前8時30分～午後11時30分に変更。(法附則第5条第1項)

### 2 届出の内容

届出年月日	平成20年5月1日			
店舗	店舗名称	平和堂木曾川店		
	店舗所在地	一宮市木曾川町里小牧字清水52番地ほか10筆		
設置者	名称	株式会社平和堂		
	代表者	代表取締役 夏原 平和		
	住所	滋賀県彦根市小泉町31番地		
	備考	ほか2名		
小売業者	名称	株式会社平和堂東海		
	代表者	代表取締役 夏原 平和		
	住所	一宮市西島町三丁目28番地1		
	備考	ほか5名		
		変更前	変更後	
店舗面積		1,915 m <sup>2</sup>	変更前に同じ	
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおりに	同
		台数	114 台	同
	駐輪場	位置	別紙図面のとおりに	同
		台数	108 台	同
	荷捌施設	位置	別紙図面のとおりに	同
		面積	271.6 m <sup>2</sup>	同
	廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおりに	同
		容量	119.2 m <sup>3</sup>	同
施設の運営	営業時間	開店	午前10時(一部日曜日及び年間10日午前9時)(一部午前9時30分)	午前9時(一部午前9時30分及び午前10時)
		閉店	午後11時(一部午後7時及び午後8時)	変更前に同じ
	駐車場利用時間帯		午前9時30分(日曜日及び年間10日午前8時30分)から午後11時30分まで	午前8時30分から午後11時30分まで
	駐車場出入口	数	6箇所	変更前に同じ
		位置	別紙図面のとおりに	同
	荷捌時間帯		午前7時から午後7時まで	午前6時から午後7時まで
変更する理由	顧客の利便性拡大のため			
変更する日	平成20年5月15日			

### 3 参考事項

敷地面積	8,777 m <sup>2</sup>		
建築面積	3,188 m <sup>2</sup>		
延床面積	4,317 m <sup>2</sup>		
業態	食料品専門店		
用途地域	第1種住居地域	-	-
備考	昭和62年3月18日 グランドタマコシ木曾川店として開店 平成7年8月10日 改装店舗面積増加 平成16年8月20日 法第11条第3項届出(営業譲渡による承継届)		

# 平和堂木曾川店

## 4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	特になし
(2) 深夜営業の対応	午後11時閉店のため午後10時以降の基準を上回る場合は対応
(3) 住民説明会の開催	地元説明会開催・周知
(4) テナントの履行確保	設置者の100%子会社である(株)平和堂東海が管理・運営
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	特になし
(8) 開店時の臨時措置	開店済のため特になし

## 5 施設の配置及び運営方法に関する事項

### 1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

#### (1) 交通に係る事項

##### ア 駐車場の必要台数の確保

##### (ア) 小売店舗の必要駐車台数

##### a 指針による算出

行政人口	店舗面積	日來客数 原単位 (人/千㎡)	ピーク率	駅からの距離 (商業系地域の 場合)	自動車分担率	平均乗車人員	平均駐車 時間係数	必要駐車台数
382,923人	1,915 ㎡	1,043	14.40%	600 m	70.00%	2.00 人	0.68	69 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	併設施設駐車台数	来客用駐車台数	評価
155 台	25 台	0 台	4 台	12 台	114 台	

##### b 指針によらない「特別な事情」による算出

特別な事情による算出を行う場合は、aの表をコピーし入力してください。

##### (イ) 小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

##### a 指針の参考式による算出

併設施設 の面積	併設施設の割合 (併設施設面積 / 店舗面積)	必要駐車台数
702 ㎡	36.7%	80 台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	来客用駐車台数	評価
143 台	25 台	0 台	4 台	114 台	

### イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オレター:無	2平面自走オレター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
3箇所	0箇所	0箇所	0箇所	101 台

### ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

種別	1	収容台数		歩行者動線		非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	なし		
		47 台		歩道	交差点距離					駐車待スペース	予測来台車数	道路形態
A 駐車場	東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	1箇所	市町村道	7.2m	なし	5m	なし	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
	南	1箇所	市町村道	5.5m	なし	30m	なし	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
	北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置		なし										

種別	1	収容台数		歩行者動線		分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	なし		
		48 台		歩道	交差点距離					駐車待スペース	予測来台車数	道路形態
B 駐車場	東	2箇所	県道	16m	あり	30m	なし	予測なし	双方向	左折のみ	なし	-
	西	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
交通整理員等の配置		なし										

B駐車場駐車台数60台 - 併設施設駐車台数12台 = 48台

種別	1	収容台数		歩行者動線		非分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	なし		
		19 台		歩道	交差点距離					駐車待スペース	予測来台車数	道路形態
C 駐車場	東	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	1箇所	市町村道	7.2m	なし	30m	なし	予測なし	双方向	右左折混合	なし	-
	南	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	北	1箇所	県道	16m	あり	10m	なし	予測なし	双方向	左折のみ	なし	-
交通整理員等の配置		なし										

# 平和堂木曾川店

	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
評価					

## 工 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
未実施	未実施	未実施	未実施

### (ア) 交通飽和度の検討

交差点A	飽和度	休日			平日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
	将来交通量/可能交通容量	-	-	-	-	-	-
	ピーク時間帯	-	-	-	-	-	-

### 周辺道路の混雑を回避するための対策等

既存店のため交通量予測等は実施していませんが、現在、店舗周辺の交差点及び道路での混雑は発生していません。

## オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗南側1箇所、店舗東側に3箇所
駐輪場の収容台数	108台
標準収容台数	55台
収容台数根拠	指針の標準収容台数による

位置評価	台数評価

## カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	なし	収容台数	-
位置及び箇所	駐輪場と兼用		

位置評価	台数評価

## キ 荷捌施設の整備等

### (ア) 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	271.6㎡	あり	15分	4台	5台	

### (イ) 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
9:00~10:00	6台	8:00~9:00	12:00~13:00	あり	1台分	

## ク 経路の設定等

### (ア) 車両関係

#### a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置なし	チラシ配布	非回避	回避	回避	あり

#### b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
なし	-	-

非配備の場合等の対応

#### c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

#### d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力	事業なし	評価

### (イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置	評価
配慮済	なし	必要なし	

### (ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画	評価
実施	実施	

# 平和堂木曽川店

## (工) 防災・防犯対策への協力

### a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結可能	

### b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	なし	

評価

## 2 生活環境悪化防止関係

### (1) 騒音発生に係る事項

#### ア 騒音問題対応策

##### (ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	1 m	なし	室外機	なし	あり	夜間停止
西方向	8 m	なし	商品搬入、廃棄物収集	なし	なし	アイドリングストップ
南方向	10 m	なし	車両走行音	なし	あり	利用時間制限
北方向	2 m	100 m	室外機	なし	なし	低騒音型機器設置

##### 遮音壁の影響 特になし

大垣共立銀行及び三田ビル屋上に設置(平和堂木曽川店建物には遮音壁なし。)

### (イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷捌きの有無	なし
荷捌施設建築計画面での配慮	特になし
荷捌作業運営面での配慮	アイドリングストップ、物流システムの改善による搬入車両の削減
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

### (ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	既存住宅に影響が少ない場所に設置
給排気口等からの騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
駐車場からの騒音配慮	利用時間の配慮、周辺道路との段差をなくす
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避
経年劣化等の事後対策	機器周辺の防音措置の強化、機器の配置の見直し・更新

### (エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	吹出し、吸込み口の形状検討、ダクトの吸音対策
運営面の騒音配慮	夜間稼働停止

## イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調機室外機	69	冷却塔		給排気口	15	変電施設		浄化槽		ポンプ			
				冷凍機室外機	7	キュービクル									
変動騒音		自動車走行		後進警報ブザー				BGM		アナウンス					
		ゴミ収集作業		アイドリング											
衝撃騒音		荷降し音		台車走行											
建物の構造(高さ)		平和堂:鉄骨造2階建(10m)、ソフトバンク:木造1階建(4.5m)、三田ビル:鉄骨造3階建(9.87m)、大垣共立銀行:鉄骨造2階建(8.2m)													

# 平和堂木曽川店

## (ア)等価騒音レベル予測

		北(N1)	北(N2)	東(E)	南(S)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	市街化調整区域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	46.5 dB	49.0 dB	47.5 dB	46.3 dB
	評価				
設置者	夜間等価騒音レベル	28.5 dB	25.1 dB	38.5 dB	36.4 dB
	評価				
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
		西(W)			
用途地域		第1種住居地域			
昼間基準値		55 dB			
夜間基準値		45 dB			
設置者	昼間等価騒音レベル	52.6 dB			
	評価				
設置者	夜間等価騒音レベル	37.1 dB			
	評価				
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当			
	夜間等価騒音レベル検証	妥当			

基準値を超えた場合の対応等

-
---

## (イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無					無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か					
上記A・Bの具体的内容					-
		北(a1)	北(a2)	東(b)	南(c)
用途地域		第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域	第1種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル	30.1dB	29.1dB	16.5dB	39.6dB
	評価				
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	40.1dB	38.7dB	53.6dB	44.4dB
	評価				
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当	妥当	妥当	妥当
		西(d)			
用途地域		第1種住居地域			
基準値を5dB減ずる要因		なし			
基準値		40dB			
設置者	定常騒音の騒音レベル	39.4dB			
	評価				
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	23.1dB			
	評価				
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当			
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	妥当			

基準値を超えた場合の対応等

<p>(1)予測地点a1の対策 基準値超過の要因は、併設施設である大垣共立銀行の夜間金庫を利用する車両の走行音であり、店舗の来客車両走行音ではないため、店舗の騒音が周辺環境に及ぼす影響は小さいと考えられる。</p> <p>(2)予測地点cの対策 実測(H15.11実施)の結果、L5で61.5dBであり、住居側での予測値44.3dBを上回ることから、周辺環境に及ぼす影響は小さいと考えられる。</p> <p>(3)予測地点bの対策 上記実測地点における交通量を調査した結果、予測地点b付近より実測地点の方が環境騒音が小さいと考えられることか</p>
--

# 平和堂木曾川店

## (2) 廃棄物関係

### ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	生ゴミ庫に空調設備設置、食品加工場にグリストラップ洗浄設置
衛生問題関係配慮	生ゴミ庫に空調設備設置、食品加工場にグリストラップ洗浄設置

### (ア) 小売店舗の必要保管容量

#### a 指針に分類される廃棄物等

##### 平和堂木曾川店

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	76.17 m <sup>3</sup>	1日	0.367 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	3.67 m <sup>3</sup>	変更なし	
金属製廃棄物用		6日	0.012 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.72 m <sup>3</sup>	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		6日	0.011 t	0.15 t/m <sup>3</sup>	0.44 m <sup>3</sup>	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		3日	0.035 t	0.02 t/m <sup>3</sup>	5.25 m <sup>3</sup>	変更なし	○
生ごみ用	16.50 m <sup>3</sup>	1日	0.298 t	0.55 t/m <sup>3</sup>	0.54 m <sup>3</sup>	変更なし	
その他可燃性廃棄物用	20.13 m <sup>3</sup>	1日	0.095 t	0.38 t/m <sup>3</sup>	0.25 m <sup>3</sup>	変更なし	
合計	112.80 m <sup>3</sup>	-	-	-	10.87 m <sup>3</sup>	-	

##### 三田ビル

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	6.40 m <sup>3</sup>	3日	0.031 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.93 m <sup>3</sup>	変更なし	
金属製廃棄物用		6日	0.001 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	0.06 m <sup>3</sup>	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		6日	0.001 t	0.15 t/m <sup>3</sup>	0.04 m <sup>3</sup>	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		6日	0.003 t	0.02 t/m <sup>3</sup>	0.90 m <sup>3</sup>	変更なし	○
生ごみ用		3日	0.026 t	0.55 t/m <sup>3</sup>	0.14 m <sup>3</sup>	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		3日	0.008 t	0.38 t/m <sup>3</sup>	0.06 m <sup>3</sup>	変更なし	○
合計	6.40 m <sup>3</sup>	-	-	-	2.13 m <sup>3</sup>	-	

#### 保管日数の設定根拠

既存の実績に基づく

#### 見かけ比重変更の理由

変更なし

#### 指針と異なる算定式の使用

日排出量には瓶・缶・ペットボトル等の店頭回収リサイクル品を含む。

#### b その他の廃棄物等

取扱品目	保管容量	必要保管容量	評価
廃家電用	0.00 m <sup>3</sup>	0.00 m <sup>3</sup>	
粗大ごみ用	10.00 m <sup>3</sup>	8.00 m <sup>3</sup>	
合計	10m <sup>3</sup>	8.00 m <sup>3</sup>	

### (イ) 小売店舗以外の施設の必要保管容量

#### a 飲食店の廃棄物等(現在飲食店はなし、但し、平和堂2階に飲食店入居可能性あり)

取扱品目	飲食店の面積	飲食店の保管容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更
生ごみ等用	405 m <sup>2</sup>	0.00 m <sup>3</sup>	1日	81.0 kg	550 kg/m <sup>3</sup>	0.15 m <sup>3</sup>	変更なし
保管日数の設定根拠	小売店舗と同一						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

#### b 小売店舗以外の施設の廃棄物等(廃棄物等の保管場所が小売店舗と同一の場合)

取扱品目	届出容量	小売店舗以外の必要保管容量	施設全体の必要保管容量	評価
紙廃棄物用	76.17 m <sup>3</sup>	0.15 m <sup>3</sup>	3.82 m <sup>3</sup>	
金属製廃棄物用			0.72 m <sup>3</sup>	○
ガラス製廃棄物用			0.44 m <sup>3</sup>	○
プラスチック製廃棄物用			5.25 m <sup>3</sup>	○
生ごみ用	16.50 m <sup>3</sup>	0.15 m <sup>3</sup>	0.69 m <sup>3</sup>	
その他可燃性廃棄物用	20.13 m <sup>3</sup>	1.00 m <sup>3</sup>	1.25 m <sup>3</sup>	
合計	112.80 m <sup>3</sup>	1.30 m <sup>3</sup>	12.17 m <sup>3</sup>	

クリーニング、美容室が平和堂木曾川店と同一(飲食店部分も算入)。三田ビルの浅井耳鼻咽喉科は別途確保

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	あり	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ゴミ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	あり
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	あり
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	あり
その他	なし	その他	なし



# 平和堂木曾川店

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	廃棄物収集作業に至近距離に保管庫設置
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施	あり
	生ゴミ保管施設の密閉性の確保	あり

## イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	ガラス製・プラスチック製廃棄物以外は毎日回収
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	東海装備(株)(愛知県許可番号2300004694) 木曾川環境クリーン(株)(一宮市許可番号113)
運搬業者・処理業者に対する情報提供	マニフェストの発行義務付け
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	あり

## ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	悪臭対策として汚水マスの洗浄を行う
併設施設からの悪臭防止対策	特になし

評価

## (3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	特になし
市町村等の公的計画への協力	特になし
照明等の配慮	敷地内照明は閉店後速やかに消灯
敷地内の緑地計画	開発段階での行政の指導による

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	-

住民等の意見の概要	対応
意見なし	-

県の意見案	
意見なし	